

福島・いわき・小名浜支援レポート

浜通り医療生協・小名浜生協病院支援活動報告(東京民医連)

2011年4月25日(月) No.1

4月25日(月)の活動

◆浜通り医療生協組合員訪問による震災後の無事確認行動。

◆行動の概要

午前： 行動参加： 10人(職員6人、理事・組合員4人)

訪問件数： 109件

対話件数： 58件

午後： 行動参加： 27人(職員7人、理事・組合員9人、県連2人、支援者7人、その他2人)

訪問件数： 258件

対話件数： 163件

本部は、医療生協の組合員センターです。連絡先は、浜通り医療生協組織部(TEL: 246-92-3099)です。

本日は朝8時45分からの打ち合わせで、浜通り医療生協の伊東達也理事長があいました。その後、各組に分かれて生協組合員の無事確認のため地域訪問に出発しました。

明日4月26日(火)も一日、地域訪問を予定しています。



◆◆◆ 訪問活動トピックス・被災者の声 ◆◆◆

◆82歳男性。久ノ浜の老人施設が避難所に移ったため一旦帰宅し在宅生活に。認知症のため10日後に「ふくじゅえん」に入所したが4/3死亡。残念…。

◆避難所と在宅者の対応に格差がありすぎる。ひどい!! 市は何とかしてほしい…。

◆塙の倒壊や外壁のひび割れなど住宅の被害がほとんどの組合員宅にあり。団地が盛り土で造成されたらしく、玄関や窓の開閉が困難になっているところも数軒あった。車が流され、見つかった車からのガソリンが抜かれていたらしい。

◆川沿いの下流域は床上浸水が多く、家具がすべてダメになるなどの被害。役所は『床上ですね…』と3万円の見舞のみ…。

◆山手の地区で被害も少なく、近隣の学校が避難所で自衛隊も支援してくれたため飲み水の心配もなかった。

◆屋内外の損壊が多く見られる。余震で不安を抱いている方もいたが、1ヶ月以上経過して“冗談”と言われる方もおり逆に安心できた。原発に対する不安あり。

◆典型的な漁港集落で全壊9軒。「取り壊し承認します」の貼り紙あり。瓦礫の撤去作業が始まっている。血圧測定が喜んでもらえたので、「健康チェック訪問」もありか…。

◆海岸部は家がほぼ全壊。津波が家の中まで来て、胸まで浸水し必死に逃げたという方もいた。原発が心配との声多い…。

【東京民医連事務局短信】 ▼4/25本日から浜通り支援活動に合流した吉田(東京民医連事務局)と田村(健生会企画部)は午前中の行動隊を送りだした後、浜通り医療生協組織部の佐藤主任と打ち合せ。行動の準備や内容について確認しました。訪問行動マニュアル・支援参加者登録用紙・訪問行動レポート用紙・訪問地域の地図掲示・訪問時の持ち物準備・ニュース作成の任務分担などを行ないました。▼4月6日に健生会が持参した支援物品の「カッパ」がもう10着程度しかありません。本日午後も雷とスコールで行動参加者に配布しましたが、もうなくなります。▼職員の子どもの赤ちゃん(まだ産まれてませんが...)用の粉ミルクがお店にも在庫なしで買えない状況です。大量でなくていいので、次の支援に来る方が持参できるようでしたら支援物資としてご協力いただければうれしいです。(田)